



2019/2/1 厚生館保育園

2月3日は節分、「鬼は一外！福は一内！」の元気な掛け声とともに、たくさんの豆が飛びかいます。でも空気中に飛んでいるのは豆だけではありません。目に見えなくても、インフルエンザや風邪のウイルス、そろそろ花粉も飛び始めます。まだまだ油断せず、規則正しい生活を心がけましょう。

### 1月の感染症

インフルエンザA：23名 溶連菌感染症：4名 感染性胃腸炎：14名

今までになく、感染症が蔓延しました。胃腸炎に関しては、1月のはじめに0才児クラスで7名の感染者児が出ましたが、その後は各クラス1～2名で収束しました。

インフルエンザは、感染症サーベイランスの情報でも全国で警報になっており、かなりの感染者が確認されています。予防策としては、手洗い・うがい・咳エチケットはもちろんですが、ワクチンを受けているか否かで、合併症罹患率は減ります。

### ★インフルエンザの合併症・・・インフルエンザ脳症について

インフルエンザには中耳炎、熱性けいれんなどの合併症があります。インフルエンザ合併症の中で最も気をつけたいのが、インフルエンザ脳症です。

#### インフルエンザ脳症の危険性、原因

インフルエンザ脳症は、インフルエンザによって起こる免疫異常。インフルエンザウイルスそのものが脳に入り込むわけではなく、ウイルスに対抗しようとした体内の免疫がオーバーワークし、脳の組織を破壊してしまう病気です。主に5歳以下の子どもに発症します。インフルエンザに罹った時に、急速に進行するのが特徴で、適切な治療で約70%は問題なく回復しますが、死亡率も後遺症が残る確立も高い病気です。

#### インフルエンザ脳症の症状

- ・高熱（多くは38℃以上）
  - ・咳、鼻水、全身の倦怠感、のどの痛み、関節痛
  - ・けいれん
  - ・意識がなくなる意識障害
  - ・おびえ、恐怖、幻覚、幻視、突然大声を出す、うわ言を言ったり突然怒り出したりする異常行動
- ※インフルエンザ脳症は、発熱してから48時間以内に起こります。通常のインフルエンザに見られない症状がないか注意する必要があります。異常行動が必ずしも脳症が起きている証拠とは限りませんが、直ちに医療機関に受診することを勧めます。



## インフルエンザ脳症の予防法

手洗い、うがい、人ごみを避けることはインフルエンザ三原則ですが、ワクチンの予防接種があります。

現在のワクチンには、Aソ連型、A香港型、B型の3種類のインフルエンザウイルスが含まれています。ワクチンの型は、毎年、少しずつ変わります。流行するタイプに近い型を予想してワクチンが製造されますが、その予想が最近、非常によくあたるので、予防接種は効果が高い予防法といえます。

子どもの場合は、発症予防という点では効果が低いのですが、肺炎、脳症などの合併症を防ぐ意味ではワクチンをしたほうがいいでしょう。

・・・以上インターネットからの検索



### 2月保健行事

- 1日(金) 地域身体測定
- 5日(火) 身体測定(2～5才児)
- 6日(水) 身体測定(0,1才児)
- 8日(金) 地域ベビーマッサージ・育児相談
- 15日(金) 地域ベビーマッサージ・育児相談
- 18日(月) 地域・0才児健診
- 22日(金) 地域ベビーマッサージ・育児相談